



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月31日

上場会社名 虹技株式会社 上場取引所 東
コード番号 5603 URL <https://www.kogi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 幹雄
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役総務担当 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切り捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	6,186	△3.6	245	△7.0	289	△7.4	205	433.0
2025年3月期第1四半期	6,418	0.5	263	27.0	312	41.1	38	△75.5

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 △186百万円 (－%) 2025年3月期第1四半期 478百万円 (△30.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	62.88	—
2025年3月期第1四半期	11.80	—

(注) 2025年3月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	33,613	17,666	42.0	4,316.69
2025年3月期	33,714	18,048	42.6	4,391.17

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 14,114百万円 2025年3月期 14,358百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	12,940	0.1	400	△32.3	360	△36.8	250	17.0	76.46
通期	25,640	△2.6	660	△40.9	530	△53.2	340	△57.4	103.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	3,362,163株	2025年3月期	3,362,163株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	92,311株	2025年3月期	92,311株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	3,269,852株	2025年3月期1Q	3,269,858株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に係る数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要に支えられ、経済活動の緩やかな回復を見せたものの、ウクライナや中東情勢の悪化による原材料や原油価格の高騰、物価高騰に伴う個人消費の落ち込み、アメリカの関税政策の動向などにより、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このようなもとで当社グループは、『“Kai (甲斐・解)”を見出す』をキーワードに、①省人化、②脱炭素社会に向けて、③人材育成、の3点を重点課題に設定した、第8次3カ年計画をスタートさせ、より強固な経営基盤の構築と成長戦略の具現化に努めてまいりました。

このような事業環境において当社グループは、原材料高騰への対応として製品の販売価格は正による収益の確保ならびにコスト改善諸施策の一層の推進に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高 61億8千6百万円（前年同期比 3.6%減）、営業利益 2億4千5百万円（前年同期比 7.0%減）、経常利益 2億8千9百万円（前年同期比 7.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益 2億5百万円（前年同期比 433.0%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① Casting Field

鋳型は、特殊鋼向けが低調に推移し、売上高は、前年同期を下回りました。ロールは、主要顧客先の国内高炉メーカーおよび電炉メーカー向け案件や輸出案件が低調に推移し、売上高は、前年同期を下回りました。自動車用プレス金型鋳物は、国内カーメーカーの新型開発計画が見直しとなり、売上高は、前年同期を大きく下回りました。大型産業機械用鋳物は、大型工作機械の需要が堅調で、売上高は、前年同期並みで推移しました。小型鋳物は、機械・上水関係の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。

デンスパーは、建設機械向けをはじめとした主要顧客先の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。海外事業の天津虹岡鋳鋼有限公司、南通虹岡鋳鋼有限公司は、中国景気の悪化や競合他社との競争激化が続く中、主要顧客先である金型メーカー向けの受注が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。連結子会社である株式会社小口合金鋳造所は、FPD露光装置向けの需要が堅調で、売上高は、前年同期並みで推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は、56億8千6百万円（前年同期比 3.5%減）、セグメント利益 3億3千2百万円（前年同期比 0.0%減）となりました。

② Environment Field・環境エンジニアリング

環境装置事業は、建設案件の需要が伸び悩み、売上高は、前年同期を下回りました。送風機は、主要顧客先の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。環境・省エネ商品のトランスペクターは、鉄鋼向けの需要が低調で、売上高は、前年同期を下回りました。

この結果、当事業の売上高は、3億5百万円（前年同期比 8.1%減）、セグメント損失 △4千2百万円（前年同期 セグメント損失△5千8百万円）となりました。

③ Environment Field・機能材料

KCメタルファイバーは、国内の自動車向け摩擦材の需要が好調で、売上高は、前年同期を上回りました。

この結果、当事業の売上高は、1億9千万円（前年同期比 3.0%増）、セグメント利益 5百万円（前年同期比 10.1%増）となりました。

④ その他の事業

当事業の売上高は、4百万円（前年同期比 36.3%減）、セグメント損失 △1百万円（前年同期 セグメント利益0百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、199億5千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億4千3百万円減少いたしました。これは、主として受取手形、売掛金及び契約資産が4億8千1百万円減少したことなどによります。

固定資産は、136億5千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4千3百万円増加いたしました。これは、主として機械装置及び運搬具が2億3千1百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、336億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、124億1千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千7百万円増加いたしました。これは、主として短期借入金が4億8千3百万円増加したことなどによります。

固定負債は、35億3千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少いたしました。これは、主として長期借入金が1億3千9百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、159億4千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億8千1百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、176億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億8千2百万円減少いたしました。これは、主として為替換算調整勘定が1億9千2百万円、非支配株主持分が1億3千8百万円減少したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の42.6%から42.0%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期第2四半期累計期間の業績予想につきましては、本日発表の「2026年3月期第2四半期(累計)連結業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、中国国内で自動車用プレス金型鑄物の生産・販売を手がける天津虹岡鑄鋼有限公司および南通虹岡鑄鋼有限公司の業績が、中国国内において引き続き事業環境が厳しい中において、主要顧客先である金型メーカー向けの受注が好調であったため、売上収益が予想に比し、順調に推移したことに加えて、国内事業において、コスト改善のための諸施策および製品の販売価格は正に注力した結果、売上高、利益とも前回発表の予想を上回る見通しであるため、上方修正しております。

2026年3月期通期業績予想につきましては、今後の需要動向や原材料価格など、現時点において第3四半期以降の事業環境が不透明であるため、現時点で2025年5月8日公表の数値に変更はございません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,168	2,985
受取手形、売掛金及び契約資産	10,712	10,231
電子記録債権	2,234	2,430
商品及び製品	1,462	1,510
仕掛品	1,257	1,402
原材料及び貯蔵品	1,321	1,218
その他	140	175
流動資産合計	20,297	19,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,879	2,774
機械装置及び運搬具（純額）	3,591	3,823
土地	1,256	1,256
その他（純額）	1,479	1,606
有形固定資産合計	9,207	9,461
無形固定資産		
のれん	79	75
その他	422	400
無形固定資産合計	502	476
投資その他の資産		
投資有価証券	3,477	3,406
退職給付に係る資産	65	147
長期貸付金	4	4
繰延税金資産	13	14
その他	145	148
投資その他の資産合計	3,706	3,722
固定資産合計	13,416	13,659
資産合計	33,714	33,613

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,099	2,895
短期借入金	6,422	6,906
未払法人税等	156	21
賞与引当金	340	113
災害損失引当金	50	24
その他	1,956	2,451
流動負債合計	12,026	12,414
固定負債		
長期借入金	2,410	2,270
繰延税金負債	969	1,004
その他	259	258
固定負債合計	3,639	3,532
負債合計	15,665	15,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	602	602
利益剰余金	8,768	8,778
自己株式	△99	△99
株主資本合計	11,274	11,284
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,704	1,666
繰延ヘッジ損益	△0	4
為替換算調整勘定	1,072	880
退職給付に係る調整累計額	306	279
その他の包括利益累計額合計	3,083	2,830
非支配株主持分	3,689	3,551
純資産合計	18,048	17,666
負債純資産合計	33,714	33,613

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	6,418	6,186
売上原価	5,385	5,104
売上総利益	1,032	1,081
販売費及び一般管理費	769	836
営業利益	263	245
営業外収益		
受取利息及び配当金	67	66
その他	34	26
営業外収益合計	101	93
営業外費用		
支払利息	32	36
その他	20	12
営業外費用合計	53	49
経常利益	312	289
特別利益		
投資有価証券売却益	—	24
特別利益合計	—	24
特別損失		
災害損失引当金繰入額	204	—
災害による損失	32	—
特別損失合計	237	—
税金等調整前四半期純利益	75	313
法人税、住民税及び事業税	7	6
法人税等調整額	6	55
法人税等合計	14	62
四半期純利益	61	251
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	46
親会社株主に帰属する四半期純利益	38	205

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	61	251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	123	△38
繰延ヘッジ損益	4	4
為替換算調整勘定	306	△376
退職給付に係る調整額	△17	△26
その他の包括利益合計	416	△437
四半期包括利益	478	△186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305	△47
非支配株主に係る四半期包括利益	172	△138

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）
減価償却費	354百万円	375百万円
のれんの償却額	3百万円	3百万円

（注）前第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額により開示しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	5,862	—	—	5,862	—	5,862	—	5,862
環境エンジニアリング・環境	—	75	—	75	—	75	—	75
環境エンジニアリング・機械	—	238	—	238	—	238	—	238
機能材料	—	—	184	184	—	184	—	184
ソーラー	—	18	—	18	—	18	—	18
その他	32	—	—	32	6	39	—	39
顧客との契約から生じる収益	5,894	331	184	6,411	6	6,418	—	6,418
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,894	331	184	6,411	6	6,418	—	6,418
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	0	—	0	—	0	△0	—
計	5,894	331	184	6,411	6	6,418	△0	6,418
セグメント利益又は損失(△)	332	△58	4	278	0	279	33	312

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額33百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△59百万円、営業外収益101百万円、営業外費用が△8百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

3. 前連結会計年度末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間に係る数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	Casting Field	Environment Field・環境 エンジニア リング	Environment Field・機能 材料	計				
売上高								
鋳物	5,650	—	—	5,650	—	5,650	—	5,650
環境エンジニアリング・環境	—	70	—	70	—	70	—	70
環境エンジニアリング・機械	—	211	—	211	—	211	—	211
機能材料	—	—	190	190	—	190	—	190
ソーラー	—	22	—	22	—	22	—	22
その他	35	—	—	35	4	40	—	40
顧客との契約から生じる収益	5,686	305	190	6,182	4	6,186	—	6,186
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	5,686	305	190	6,182	4	6,186	—	6,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1	—	1	—	1	△1	—
計	5,686	306	190	6,184	4	6,188	△1	6,186
セグメント利益又は損失(△)	332	△42	5	294	△1	293	△4	289

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△4百万円に、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△74百万円、営業外収益82百万円、営業外費用が△12百万円含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。